

# 一般質問

## 選挙年齢18歳以上 引き下げに伴う対応は



早坂 信一 議員

**問** 最近の選挙における若年層の投票率はどれくらいか？

**村長** ここ一年間の20代の投票率は、衆議院41.6%、県議会43.5%、村議会51.3%、昨年の衆議院選挙の全国平均が32.5%であり、これに比べると戸沢村は高い投票率であると思う。

**問** 村の教育政策としての取り組みは？

**村長** 改正公職選挙法の公布により、選挙年齢が18歳以上に引き下げられました。戸沢村では学校と家庭、地域が一体となって、子供を育てていく学社融合教育に取り組んできました。地域が抱える問題へ目を向けさせる戸沢中三年生による「村への提言」も、授業とし



戸沢村ホームページ

**問** 情報社会の現代において、インターネットを活用した村づくりが急務だと思います。ひとつの新しい考え方として、インターネットの中に仮称「ネット戸沢村」を創ってはいかがでしょうか。それを「とざわファンクラブ」として運営していくことにより、交流人口の拡大につながると思います。

**村長** 村としては、現在総務課において、ホームページを管理し、村内でのイベント等の写真を随時掲載しながら新しい情報を更新しております。提案いただいている内容等を踏まえ、今後もインターネットを利用した村づくりを推進してまいります。

## インターネットを 活用した村づくりは

行われています。このような取り組みで、子供たちの政治的要素と公正

に判断する力を育てていきます。

**問** 村として、特産品の振興政策が重要と考えるがその具体策はなにか。

**村長** 最上伝承野菜である、エゴマやソバの穀類、角川かぶ、パプリカの販売に取り組んでいます。特に、村で加工し直接販売しているエゴマは、健

## 村の特産品 振興対策は

**問** インバウンド（外国人旅行者）をターゲットとした観光政策が急務と考えるが、戸沢村で雪を活用したスノーモービル体験、かまくら体験やお寺での座禅体験等の観光商品の開発を企画してはどうか。

**村長** 五月に「日台観光サミット」が開催され、

## インバウンド への対応は

台湾の観光関係者が戸沢村を訪れています。また、民間業者が中心になり、外国人向けの新たな商品開発などを行う「みちのくインバウンド推進協議会」も設立されています。今後これらを含め、外国人の受入に連携して取り組んでいきます。

## 外国人観光客の 受け入れ体制は

# 一般質問



田中 奨 議員

**問** 近年、全国で外国人観光客の受け入れが盛んで、首都圏の観光客は日本人より多くなり、本村においても見受けられる



日台観光サミット

ようになりました。今後、月山ジオパーク承認へ向け、モニター造成の計画もあり、外国人観光客の受け入れ態勢の整備が必要と考えられる。そこで、通訳のできる案内人の育成を考えているか。

**村長** 外国人観光客が、首都圏を中心に、1700万人以上が訪れていますが、地方へ誘客を図るため、国、県を始め受け入れ体制の整備や強化の取り組みを行っています。

通訳のできる案内人育成を各観光協会や案内人協会、在日外国人、留学生ボランティアガイドの研修や講習会を実施しておりますが、最上管内においては、各団体とも高齢者が多く外国語を覚えて通訳することは、大変難しいとの声もあります。県や各観光協会と連携しながら、在日外国人や学生等に働きかけを行い、体制整備をする計画です。

**問** 今後、常時観光客を誘致するためには、スマホやタブレットを利用しての予約や観光スポット等の案内に便利な、無料WiFiスポットの活用が有効と思いますが、村内の数ヶ所に設置する考えはないか。

**村長** 観光施設や宿泊地でインターネットを活用して、外国人や若者の情報収集の一つとして利用されていますが、設置費用や使用料が発生します。しかし、村としては情報提供の一つとして有効と思いますので、情報発信する目的や設置場所の選定等を考慮しながら、検討してまいります。



東京戸沢会赤羽物産市

## 東京戸沢会 役員との交流会は

**問** 毎年、大変お世話になってる東京戸沢会の役員方との交流会を村で開催すべきと思うが、考えているか。

**村長** 東京戸沢会、発足30周年を迎える時期に実施することが考えられますが、旬の市などに来ていただければと思います。今後検討してまいります。